

令和7年度 第3回 契約監視委員会 審議概要

日 時	令和8年2月20日（金）13：30～15：00
形 式	オンライン会議 （主会場：国立研究開発法人海洋研究開発機構 横須賀本部）
出席者名	菊池委員長、上岡委員（※）、富岡委員（※）、三尾委員（※）、宮崎委員（※） ※オンライン参加者
事務局	国立研究開発法人海洋研究開発機構 監査室
審議概要	<p>1. 令和7年度 第2回契約監視委員会議事録（案）が承認された。</p> <p>2. 令和7年度調達等合理化計画の中間報告として、辞退理由の分析状況、参入機会拡大に関する検討状況等について報告された。</p> <p>3. 令和7年8月～11月の契約案件の中から、委員が事前に選定した2件に関して詳細な説明があり、各案件に対する契約手続等の妥当性について審議が行われ、以下の点について委員より意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札への対応として、制度見直しや事前ヒアリング、事前の働きかけの強化の必要性が指摘された。 ・一者応札等の原因分析を深め、手続きの効率化や柔軟な対応を図る必要があるとの課題が共有された。
決定事項	
その他	

令和7年度 第2回 契約監視委員会 審議概要

日 時	令和7年11月14日（金）10：00～11：00
形 式	対面およびオンライン会議 （主会場：国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所）
出席者名	菊池委員長、上岡委員（※）、富岡委員（※）、三尾委員、宮崎委員 ※オンライン参加者
事務局	国立研究開発法人海洋研究開発機構 監査室
審議概要	<p>1. 令和7年度 第1回契約監視委員会議事録（案）が承認された。</p> <p>2. 令和7年4月～7月の契約案件の中から、委員が事前に選定した5件に関して詳細な説明があり、各案件に対する契約手続等の妥当性について審議が行われ、以下の点について委員より意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札への対応：人材確保の困難さや業務の専門性の高さが原因で、高額な役務案件で一者応札が続いている点について、現行の入札制度の適合性や、随意契約への移行可能性が意見された。 ・競争性向上の対策：競争性を高めるため、高額案件における短い公告期間の見直しや長期的な公告期間の設定、および計画的な情報開示の必要性が示唆された。 <p>さらに、競争性を担保するため、参考見積を複数者から取得することが望ましいこと、一者応札や不調の原因をデータとして分析し、リスク管理を行うべきであるとの意見がなされた。</p>
決定事項	
その他	

令和7年度 第1回 契約監視委員会 審議概要

日 時	令和7年6月6日（金）13：30～15：00
形 式	オンライン会議 （主会場：国立研究開発法人海洋研究開発機構 横須賀本部）
出席者名	菊池委員長、上岡委員（※）、富岡委員（※）、三尾委員（※）、宮崎委員（※） ※オンライン参加者
事務局	国立研究開発法人海洋研究開発機構 監査室
審議概要	<p>1. 前回委員会で委員より質問のあった事項について担当者より説明があり、令和6年度第3回契約監視委員会議事録（案）が承認された。</p> <p>2. 令和6年12月～令和7年3月の契約案件の中から、委員が事前に選定した4件に関して詳細な説明があり、各案件に対する契約手続等の妥当性について審議が行われ、問題が無いことが確認された。 一方、幅広い応募が可能になるよう、仕様書の作り込み方や積極的な周知など、競争性を高めるための取り組みを工夫してほしい旨意見があり、引き続き検討することとなった。</p> <p>3. 令和6年度の契約状況、令和6年度調達等合理化計画自己評価および令和7年度調達等合理化計画（案）について担当者より説明があり、委員より、事業の継続性を意識しつつ、複数業者が参入しやすい入札の仕方について長期的な視野で検討してほしい旨意見があった。</p> <p>4. 令和7年4月30日に行われた契約事務規則の改正について経理部より説明があった。</p>
決定事項	1. 令和7年度調達等合理化計画（案）が承認された。
その他	